



Tokyo
Tama
Green
Rotary Club

週報

仮例会NO 9 (発行NO)

1990. 10. 24 (発行日)

国際ロータリー第275地区

東京多摩グリーンロータリークラブ

1990 ~ 1991

RIテーマ

ロータリーを高めよ

— 思いを尽くし熱意を尽くし —

RI会長

パウロV.C. コスタ

——第9回仮例会報告(10/3)——

特別代表 由井 重光

司会 副幹事 小城 章員

☆点 鐘 会長 田中 實

☆国歌斉唱

☆ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 菊池 敏

☆ビジター紹介 会長 田中 實

高取 渡 (東京多摩RC)

栗山 博行 (東京狛江多摩川RC会長)

増田 国彦 (東京狛江多摩川RC幹事)

【ご挨拶】 東京狛江多摩川RC会長・幹事

11月5日に認証状伝達式が椿山荘で行われます。又記念講演 上智大学教授 渡部昇一先生の「世紀末の回顧と展望」がありますので一人でも多くの御参加をお願い致します。

☆会長報告 会長 田中 實

*狛江多摩川RCのチャーターナイトには当クラブは全員参加となっておりますのでお願い致します。

*本日理事会を開催致しました。

・予算を原案通り可決致しました。

・チャーターナイトはガバナーの承認を得られましたので3月25日開催と決定しました。

☆幹事報告 幹事 宮本 誠

*I. M. に参加出来ない方が5名います。

I. M. には必ず出席して下さい。I. M.

の後には周辺クラブは全部I. M. に振り替えてM. Uがしにくいので、9日SCに我々会長、幹事、副はM. Uしておりますので一緒にM. Uしましょう。

*写真を撮ってない方、会員カードを提出してない方、早くお願い致します。(3回目)

*バナー(クラブのシンボルの旗)の案を次の例会にお見せる予定です。

*事務局員、西川和江さんをご紹介します。



☆委員会報告

★出席委員会

風間 茂穂

出席報告

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	33	29		4	87.88%
訂正	33	28	1	4	87.88%

〔先週のメイクアップ〕

遠藤 (多摩RC)

〔欠席届者〕 橋本、吉尾

〔欠席者〕 増川、津守

今後欠席される方は前日までに多摩GRC事務局の方に届出をお願いします。

TEL (0423) 72-6463

FAX (0423) 72-6491

★親睦委員会

萩生田茂夫

ニコニコBOX

栗山 博行、新年度のご挨拶とチャーター
増田 国彦、ナイトのお願いに上りました。
由井 重光、ガバナー月信の表紙に当クラ
高取 渡、ブの皆さんが大きく紹介され
ましたので(多摩RC西田会員撮影)

吉田 文夫 米山奨学会へ会員の皆様の協力を
えられそうなので。

大松 誠二 週報に卓話を載せて頂いて。

海野 栄一 やっと2ヶ月目 多摩GRC

足立潤三郎 ドイツ統合を記念して。

吉原光太郎 祝三菱銀行創立110周年記念。

大熊 将夫 I. M. 及び10/24 は欠席(社
員旅行)

風間 茂穂 理事会に出席出来ないバツ。

萩生田茂夫 昨日ゴルフで多タキのバツ。

◎事務局に西川さんを迎えて よろしく。

田中 實、赤尾 恭雄、小島周二郎

伊神 稔、横倉 恒雄、橋口 洋二

以上合計 ￥43,000円

★雑誌委員会

隅 耕造

「ロータリーの友」を保管するケースをお
届けします。「友」には活動月間、R情
報・用語も載っています。

【2つのファンド】

特別代表 由井 重光

ロータリーの活動の中でファンドと云うの
が2つあります。R財団は世界中の大学院、

大学生を留学させるもの、米山財団の場合
は日本に東南アジアから勉強に来ている学生
に援助するものです。民間の奨学制度として
、米山は日本の中で一番大きい組織です。留
学生が帰国した時は、母国で指導的な立場の
人達です。国際親善にも大変役に立ちます。
御協力をお願いします。

★米山奨学事業委員会

吉田 文夫

【米山月間について寄付の御協力をお願い】

我が国にロータリーを導入し自ら何人か、
東南アジアの留学生に経済的援助をされた米
山梅吉氏の功績を永遠に記念するため、昭和
28年東京RCが提唱し、現在「米山記念奨学
会」と称し全国のロータリアンからの寄付を

財源とした民間レベルの大きな奨学会です。
当初は米山氏の命日に当たる4月28日前後
を米山週間とされてきましたが、現在では10月
を米山月間として寄付の増強増進を計ってお
ります。特別寄付は下記の通りです。

①「準米山功労者」第1回分の寄付金三万円
以上を納め、後30万円に達するまで分納
する方。

②「米山功労者」特別寄付が30万円に達し
た時、又一度に30万円又はそれ以上寄付
された時「米山功労者」として地区で表彰
されます。

③「米山協力者」一般個人の特別寄付の合計
額が15万円に達した時「米山協力者」と
してメダルが送られます。1度に15万円
又はそれ以上の寄付をされたときにも同様
です。

④「米山功労法人」法人が35万円の特別寄
付をされた時。

10月31日夜間例会までに①②④いずれかの申
込をよろしく御協力お願い申し上げます。

イニシェーションスピーチ

【私は弁論部卒業生】

足立 潤三郎



今日は最初でありま
すので、家族の構成、
今日までの歩み、仕事
の内容、ロータリーに
対する取り組みについ
て話をさせていただきます。

私は、兵庫県朝来郡
和田山町竹田という所

で三男として生まれました。播州赤穂のとな
り、今話題になっております「天と地と」の
上杉謙信居城春日山城の城下町です。小学校
時代の思い出といえますと、六年生の一年間、
通学カバンと一緒に本人が帰った事が無く、
ガバンだけが先に帰宅するという状況で、か
なりのガキ大将でありました。自慢にはなり
ませんが、勉強もやらなかったですネ。きら
いでした。こんな風ですから月に3回は必ず
担任の先生が家庭訪問に来られ、しんぼう強
く、色々と指導して頂きました。この先生か
ら我慢強さという事を教えられたような気が

致します。

中学に入学して10日目に、数学の武田という先生から、いきなり顔面へパンチを受けました。私、吹っ飛びました。あの痛さは今でも覚えています。それからというものの悔しくて悔しくて、この先生を辞めさせてやろうと思い、色々いたずらをしました。しかし、ぴくともしません。或る日、おやじに相談しました。「武田先生を辞めさせたいのだがどうしたらよいか」とおやじの言うには、良く勉強をして町長か町会議員になれば辞めさせられるかもしれない、と云う事でした。そこで私はこの先生を辞めさせたいばかりに、多少勉強して高校へ入る事ができました。この先生からは「先制攻撃」を教わりました。

そして兵庫県立生野高等学校へ入学しました。今、この高校の校長を長兄がやっておりますが、兄弟5人が同じ高校を卒業したのも珍しいかと思います。クラブは柔道部に入りました。勉強の方もはかばかしくなく、気持ちを柔道でまぎらわせていました。一時はいくらかやけ気味になった時がありました。その時、済(わたる)東格という漢文の先生(お寺の住職)に巡り合いました。「やけになるな、自分を見捨てるな、あきらめずに時期を待て」と言われて、弁論部へ入部を勧められました。入部して色々話していますと、あいつは「口ばかりか」ということになりまして、多少頑張った様な気がします。当時NHKの「青年の主張」に、第1次、2次予選を通り、各県から百名、この中から16名に選ばれ、出場する予定だったのですが出ませんでした。原稿を書いておりますと、当時の事が克明に思い出され、ロータリアンとしても通じる处があるのではないかと思いますので一節やらせて頂きます。(余談 — 大拍手!!)

高校卒業後、5年ばかり浪人をして、こんな田舎にくすぶってはいけません。年間1人1円ずつ貰おうと思い、当時大阪の人口が5百万、東京の人口が1千万、同じ事なら東京が良いと思い、現在に至っています。

家族構成は妻、子供2人、長男大学生、次男高校生の4人家族です。

会社の内容は漬物の製造販売、青果物仲介

公団から地域住民にサービスをという事で土地を割安でわけて頂いたものですから、会社の一角でミニスーパーをやっております。

趣味は夫婦してゴルフが好きです。

ロータリーに対しての取り組みですが、まだ内容は良く分かりませんが、皆様に色々と指導を受けながら一緒に頑張りたいと思います。嬉しい事としまして、一度に多くの友達が出来た事。皆様の中から何かを学び取りたいと思います。

【細く永く宜しく】 遠藤 二郎



私は武蔵野市から現在の場所、落合のニュータウン通り、上之根橋交差点近くに、社屋を移し今年で10年程になります。

社業の内容は、建築工事の請負を主体に設計事務所及び不動産部を併設し、建築の企画設計から施工及完成後のテナントのお世話と建築をトータルに行っております。

その傍ら、今私は一つの運動に心を燃やしています。それは皆さん御存知の通り、建築を計画される時、第一に問題になるのが、建ぺい率と容積率だと思います。この法律の主旨は、建築物の周囲に与える環境を考慮する目的で出来たものと解釈されます。簡単に云うと限られた土地にあまり大きな建物を建てると周囲に色々な意味で迷惑が掛かるので、程々にしようと言う訳ですが、これは地上に限った事で、こと地下に関しては地上と同じ制限をする理由はまったく無いとおもうのです。しかるに、現在の法律では地下室も容積算定に、カウントされるのです。仮に、ここに建ぺい率50%、容積率200%の敷地が有るとします。各階50%の4階建てで200%になります。この計画に地下2階建てを50%ずつ利用しようとする、地上に建てられるのは2階建てまでです。地下100%、地上100%、合計200%が限度です。こんな不合理な事は無いではありませんか、皆様どう思われるでしょうか。地下ぐらい制限無く使わせると言いた

いのです。地下を使おうと、使うまいと、ご近所には関係ないのではないのでしょうか。

そこで私は、所属する東京建築士会を通じ「容積制限から地下会報運動」名付け先輩諸先制方の御協力を仰ぎながら運動を始めたところです。今ようやく大深度地下利用法とか、建ぺい率の見直し、又高度制限の見直し等々限りある国土を有効に利用しようと言う動きがある片方でこの様な法律が現在まかり通っているのです。法律を改正させると言う事は、生やさしい事ではありませんが、今後も頑張っていきたいと思っています。

趣味は旅行です。カメラを片手に年中フラフラと出かけております。多少放浪癖があって、実は来週もアメリカへ出かける予定です。例会の方は従って休ませて貰います。今後旅行の予定を立てる場合は勿論、例会を最優先に心掛けるつもりです。

今回入会のきっかけは、田中会長より熱心な御誘いを受け入会したのですが、自分ではまだ10年早かったかなと思っています。しかし入会させて頂いた以上は、ご経験豊かな諸先輩の方々の御指導を頂きながら勉強をしていきたいと思っています。

「南野の由来」



萩生田 茂夫

私は当地の農家の長男として昭和6年生まれました。私が農業を始めた頃は田畑山林三当分と言われ農業経営がやりやすい頃でした。農業の嫌いな私も農家の長男と云う宿命、仕方無しに農業を初めて以来10数年野菜作りや米作りに励んで参りました。或る日の新聞にニュータウン計画と新市街地住宅法案が発表され、昭和38年町田市に農業のかたわら別の商売を求めて将来に備えたのです。その後間

もなく都市化の波が押寄せて、その最初は永山諏訪地区だったと思います。人事の様に思ったニュータウン建設も町田市にもおよびました。買収に又区画整理と私達は戸惑い賛否の渦に巻かれました。公団の説明会も10数回、或る者は買収も区整も反対として収用委員会に持込んだ者も居りました。

又区整に対しては現在の様な町づくりが描けず不賛成の人も数多く居りました。その時私と当クラブの橋本氏と賛成派にまわった事がつい昨日の様に思われます。その後行政変更で多摩市に編入になりました。編入になって初代の自治会の役員は長老達の指令で私と橋本君達と受けるハメになりました。間もなく市からの要望で地名の変更が出され、小野路と云う地名は使わないとの条件が付されました。そこで私達は色々検討してニュータウンの一番南に位置して居るので先ず「南」を考え、次に小野路の一部を残そうと「野」を残して南野と決定し、地名変更委員会に出席して説明した所全員一致の賛成を得まして、「南野」が決定しました。区整が済み町が出来上がりましたので農業を止めて最初にテニスコートの経営を始めました所がこの仕事も雨や雪にもろく営業時間が少ない為、現在のゴルフ練習場に変えました。現在長男が一生懸命経営を始めたので、今後はクラブの皆様方と一緒に世間に対する奉仕の心を高めて行きたいと思っています。

【次回 10/31 例会予定】
【卓話】「米山奨学金について」
拡大補佐 高橋 修会員

【次回 10/31 例会予定】

【卓話】「米山奨学金について」

拡大補佐 高橋 修会員

「理解する事とは」は
「下に立つ」ことである。